

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban



8 月 8 日（土）、高見教室にて夏休み競技大会を開催、朝から暑い日でしたが当日は 28 名の生徒が参加し、各種目に珠算スキルを競い合いました（ちなみにこの日は令和 8 年 8 月 8 日、なんと8が 3 回連続する縁起の良い日）。

第一部は「豊川あんざん大会」、種目はかけ暗算（3 分間）・わり暗算（3 分間）・みとり暗算（4 分間）の 3 つで 1000 点満点。さて競技大会と検定試験とではいくつかの点で違いがありますが、何だか分かりますか？ まずは問題形式、検定試験では受験する級位によりレベルの異なる問題が出題されますが、競技大会はその場にいる全員が一斉に同じ問題にチャレンジします。次に問題数ですが、検定試験（級位）ではそろばんは 15 問、暗算は 20 問ですが、競技大会では圧倒的に多くなるのが普通で、今回はかけ・わり・みとりが各 50 問ずつ。全ての問題をできる生徒はほとんどいません。そして答え（数字）の記入についてですが、検定試験では 1 と 7、0 と 6 などどちらにも読めてしまうようなあいまいな数字は×になりますが、競技大会ではとにかくスピードが求められるために数字の採点基準はかなり甘め。また、採点については検定試験では指導者側が○×をつけますが、競技大会では生徒同士が交換採点するのが一般的。

ピーンと空気が張り詰めた教室で「よ〜い」の合図とともに全員が一斉に問題用紙をオモテに向け、真剣モードで取り組むシーンは、毎回目の当たりにするたびにコチラ側も緊張を強いられるほど。どの生徒も本当に真剣勝負です。

目標どおり実力を発揮できた人、思い通りにはできなかった人…結果はそれぞれ違うでしょうが、どの生徒も 100% の真剣勝負でトライしたことは疑う余地はありません。みなさん、練習から本番までの期間、よく頑張ってきました。入賞できた生徒はさらに上を目指してもらいたいし、入賞できなかった生徒（と言っても大半の人が入賞できませんよ〜）は過去の自分と勝負する意気込みで臨むのが良いと思いますよ。

つぎは冬の競技大会（12 月 6 日）を予定。今回と同じ問題形式（ただし、そろばんを使っても OK）となります。チャンスがある人は次回の大会へも挑戦しましょう！＊今回の入賞者は 9 月上旬に発表します

豊川あんざん大会 上位成績者

学年	人数	順位	名前	得点
4 年生	4 人	1 位	原 田 和 志	615
5 年生	13 人	1 位	吉 田 花 凜	825
		2 位	種 井 蒼 汰	805
		3 位	陶 山 嘉 良	765
		4 位	岡 田 一 芯	750
		5 位	鈴木 菜々花	725
		6 位	徳 升 瑞 樹	685
6 年生	8 人	1 位	北 國 美 怜	745
		2 位	山 本 真 子	720
		3 位	飯 田 悠 華	665
中学生	4 人	1 位	伊 藤 彩 羽	915